

未来の健康のために、自ら考え、行動する子どもの育成 ～歯・口の健康についての学びを通して～

熊本県 阿蘇市立内牧小学校（16学級：児童数321名）

本校では、子どもたちが歯・口の健康を守る術を身に付け、自分自身の課題に気付き、その課題解決に向けて自ら行動できる児童の育成を目指しています。

昨年度は、「学級活動」と「保健」の学習を通して授業の工夫改善を図るとともに、歯みがきタイムの時間帯を変更したり、委員会活動を活性化したりしながら、「歯・口の健康づくり」について、子どもたちの意識を高めてきました。また、教職員や保護者の意識を高めるために、職員研修やPTA講演会も開催し、学校歯科医による講話を実施したところです。また、今年度は、保護者や地域の理解と協力を得るために、学校運営協議会でも状況を報告しながら、PTAや地域で取り組めることはないか、熟議を重ねているところです。今後も児童の実態や学校の状況、地域性など踏まえながら、持続可能で無理なく効果のある取組を模索しているところです。

学校での取り組み

《歯みがきタイム》	《歯と口の健康づくり集会》
<p>本校では、食後に歯みがき指導を実施していましたが、給食を終える時間に個人差があるため一斉指導がしにくいという課題がありました。そこで日程を変更し、午後の授業開始前の10分間を歯みがきタイムとしました。</p> 	<p>11月8日「いい歯の日」には、保健委員会が歯と口の健康づくり集会を開催しました。保健委員が披露した劇では、「はみがき美歯太郎（本校のキャラクター）」が8020運動の意義と、そのために身に付けてほしい習慣について語りました。</p> 
<p>校内研修の一環として、学校歯科医を招聘して「歯・口の健康づくり」研修会を実施しました。長い教職経験があっても歯・口の健康づくりについて研修を受けたのは初めてという職員もいました。知識及び技能の習得だけでなく、職員の歯・口の健康づくりに対する意欲が高まるなど有意義な研修となりました。</p> 	<p>歯・口の健康づくりについての情報を本校保健委員会から生まれた「はみがきマン」がお知らせするという形式で、児童及び保護者への通信として情報を提供しました。PTA研修として実施した「歯・口の健康づくり」研修会の内容を「歯・口の健康づくりのおはなし」として連載し、図や写真等で解説しながら、家庭への啓発を図りました。保護者からも「わかりやすい」、「ためになる」と好評でした。</p> 
《歯科医との連携》	《はみがきマン通信》
PTA・地域との連携	